

ふくちやまし

議会だより

2014
5



■発行／福知山市議会 ■編集／広報広聴委員会 ■平成26年5月発行 No.99



春風をかける子ら
第13回 鬼っ子マラソン
平成26年3月21日



プレオープンを迎えた市民交流プラザふくちやま

主な内容

3月定例会の概要	2
代表質問(6人が登壇)・議会日誌	3~6
予算審査特別委員会の審査報告	7~9
常任委員会の審査報告	10~11
意見書の状況・6月定例会の予定	12
議決結果	13
各委員会の活動報告	14~16
議会報告会	17
平成25年度政務活動費収支報告	18
議会だよりアンケート結果	19
元気やで福知山! 「大江アットホーム舟越ボランティア」	20

強い絆で未来を切り開く 「ひととまちの元気づくり」予算

平成26年度当初予算

総額828億5302万円を可決!!

2月24日から3月26日までの31日にわたって3月定例会を開催しました。この議会では、松山市長から平成26年度の施政方針が示され、平成26年度一般会計予算など62議案が上程されました。その内、平成26年度予算関係37議案については、予算審査特別委員会を6日間開催し、各常任委員会の所管に関する事項、総括質疑などの審査を行いました。また、平成25年度一般会計補正予算などの25議案については、各常任委員会で審査を行いました。

その結果、全62議案いずれも原案どおり可決しました。

また、3月4日、5日の2日間は、会派代表による6人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり事務の執行状況や将来への方針などの所信をいただきました。(内容は3〜6ページをご覧ください。)

なお、「自治会長報酬を自治会長個人への支払いから自治会組織への支出に改めることを求める請願」については、総務委員会において継続して審査することとしました。

3月定例会で決まった案件の概要

◇平成26年度当初予算

- 一般会計予算 406億1000万円
- 特別会計(15会計)予算 212億6827万円
- 企業会計(3会計)予算 209億7475万円

◇平成25年補正予算(国の経済対策による前倒し予算)

- 一般会計補正予算 12億4366万円

◇平成25年度補正予算(通常の補正予算)

- 一般会計予算 2億4860万円
- 特別会計(3会計)予算 3億9418万円

◇条例の制定、一部改正、廃止

- 福知山北部地域多目的グラウンド条例の制定など26条例

◇その他

- 財産の無償譲渡、市道の認定および路線変更など

◇人 事

- 固定資産評価審査委員会委員の選任(1名)、人権擁護委員の候補者の推薦(2名)

◇議員提案議案

- 雇用の安定を求める意見書(内容は12ページをご覧ください)

※それぞれの内容は、「広報ふくちやま(4月1日号・4月15日号)」に掲載されています。

《市議会関係》

議会改革推進事業の新設

予算額：64万円

議会基本条例に掲げた議会改革を積極的に行うための先進地視察や研修会などを実施します。

議長交際費の減額

予算額：50万円

支出基準を見直し、予算を30万円減額します。

ここが聞きたい！



代表質問

各会派から6議員が質問に登壇！

※この代表質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

●質問議員●

1. 福政会
木戸 正隆 議員
2. 希望の会
桐村 一彦 議員
3. 日本共産党市会議員団
吉見 純男 議員
4. 維新福知山
高橋 正樹 議員
5. 福知山未来の会
田中 法男 議員
6. 公明党市会議員団
足立 伸一 議員

※所属会派は4月末現在



福政会

木戸 正隆 議員

平成26年度 予算編成の基本的 な考え方を問う

問 実質的な市債残高を圧縮する具体策を問う。

答 合併特例債や過疎債などの交付税算入の高い有利な市債を優先的に発行し、実質的な市債残高の抑制に

努め、将来の財政負担の軽減に努める。(財務部長)

e-1ふくちやま 整備事業の状況は

問 特別会計の「e-1ふくちやま」整備事業には一般会計からの繰入金が多額だが、この状況をどのように考えているか。

答 平成24年度決算や、その後の予算状況から見て財政的に厳しい状況である。速やかに抜本的な対策を図る必要がある。庁内関係部局において検討している。

問 今後の本事業の課題解決を含めた将来展望を、どのように考えているか。

答 最新の情報通信環境の整備状況を踏まえながら、「e-1ふくちやま」の利用者サービスの向上と持続可能なシステム管理を目指し、「e-1ふくちやま」整備事業全体の検証を実施し、よりよい方向性をしっかりと打ち出していかなければならないと考えている。

(総務部長)

合併後の 支所支援は

問 総務省は、交付税の特例措置が減少し厳しい財政運営を強いられる合併自治体を支援するため、支所一力所あたり平均加算額を2億4000万円、毎年度人件費と建物の維持管理費に1億7000万円、地域活性化の経費に7000万円が必要と見積もった。今後の支所機能のあり方を問う。

答 地域に密着した行政サービスが、今、各支所に求

められていると考える。この事により市民ニーズを踏まえ各支所の果たすべき機能を市民の皆さまと共に検討していきたい。

三和地域の 振興策は

問 菟原地内定住促進住宅分譲は。

答 平成26年度に既存の建物の解体撤去とともに測量と分譲のための設計を実施し、27年度に5区画を住宅分譲する計画である。

(市長)

問 大原地区周辺整備事業計画は。

答 平成26年度の事業費は、工事請負費3160万円、物件移転補償などに、404万円、合計3564万円を計上している。

(地域振興部長)



旧大松機業の跡地



希望の会
桐村 一彦 議員

公共施設の老朽化 更新の考え方は

問 高度成長期に大量に建設された公共施設の老朽化が進み、更新需要が全国的にひっ迫することが見込まれるが、市の現状は。

答 今後、一気に大規模な改修、建替えの時期を迎え

る。更新時期が始まるとい

るとい認識である。財政

面と施設の効率的な活用の

両面から公共施設の質と量

の検討が必要だ。また、公

共施設の現況調査をしてい

る。施設状況、維持管理経

費、使用頻度などを取りま

とめた基本方針の策定を進

めている。基本方針に基づ

き、公共施設の再配置計画

の策定を進めたい。

(市長・財務部長)

問 市長の決意は。

答 先送りにせず、積極的

にこの問題に取り組んでい

く決意である。(市長)

上下水道管の 経年対応は

問 インフラの経年対応は。

答 上下水道管の法定耐用年

数は40年(塩化ビニル管は

20年)で、総延長453km

のうち11・3%が改修対象

の下水道管は耐用年数50年

で、総延長584kmが順次更新

時期を迎えるため、長期的

な改築更新事業が必要であ

る。(上下水道部長)

災害時の情報伝達 の問題と対応策は

問 台風18号水害で課題は

なかったか。

答 風雨で屋外スピーカー

での情報が聞き取りにくい

ことや、深夜の情報伝達の

難しさがあった。当初予算

でお願いしている「FM丹

波」を活用した緊急告知ラ

ジオを由良川流域の要配慮

者に配布し、生命を守る行

動につなげてもらうなど改

善・充実を図りたい。

問 防災行政無線戸別受信

機の全世帯配備が最も有効

と考えるが。

答 財政面の問題もあるが、

土砂災害警戒区域への戸別

配備などを予定している。

今後もあらゆる情報伝達手

段を利用し、市民の安全に

努める。(危機管理室長)

地域活性化に 公民館活動は重要

問 地域コミュニティが脅

かされている。公民館活動

の活性化と後押しを。

答 地域力が低下している

ことは認識しており、地域

の豊かな人間関係や自主性

を培う観点からも、公民館

活動が重要と考えている。

(教育部長)

特養ホーム入所 が困難に

問 要介護1、2は特養に

入所できなくなるが対応は。

答 介護認定者には、担当

のケアマネージャーを通じ

て説明をする。介護認定者

以外の方には「広報ふくち

やま」などでお知らせする。

(福祉保健部長)



日本共産党市会議員団
吉見 純男 議員

コメ作りに 市の支援を

問 コメの直接支払交付金

10a当たり1万5000円

を平成29年度で打ち切る事

となったが、交付対象農家

数と交付金額は。



持続可能な農政を

市内全農家の54%、交付金

額は、水稲が1億9700

万円、大豆・麦で9800

万円となっている。

問 交付金打ち切りに対し

て、特別栽培米支援金制度

の創設をして持続可能なコ

メ作りができるようにすべ

きだが。

答 今後、国・府の施策を

最大限活用するとともに市

独自の施策の実施により、

取り組んでいけたらと考え

ている。(農林商工部長)

増税ストップ 経済振興策は

問 市公共料金への消費税

転嫁額は。

答 平成26年度当初予算全

会計予算で使用料、手数料

の消費税8%相当額は、概

算で3億1800万円、う

ち3%増税分は1億190

0万円となる。

問 4月からの増税は、市

民の暮らしや市内中小零細

業者に計り知れない深刻な

打撃を与えるが、市の見解

は。

答 国・地方合わせて5兆

円の増収分全額を年金、医

療、介護、少子化対策など

の社会保障経費に活用する

という説明であった。今後、

増加の一途をたどる社会保

障関連経費に対して、持続

可能なシステムとして存続

させるためには、安定的な

財源確保が必要と思ってい

る。市においては、年々高

齢化が進行している。少子

高齢化を支える財源充実は

必要と考える。福祉目的に

特化して活用されるなら、

消費税の引き上げは、やむ

を得ないのではと理解する。

問 地元経済が元気になる

地域循環型経済対策として

の「中小零細企業振興条例」

「住宅リフォーム助成制度」

が困難に

要介護1、2は特養に

入所できなくなるが対応は。

答 介護認定者には、担当

のケアマネージャーを通じ

て説明をする。介護認定者

以外の方には「広報ふくち

やま」などでお知らせする。

(福祉保健部長)



増水した支流河川の様子



維新福知山

高橋 正樹 議員

労働組合への補助金支出の実態は

問 どのような経緯でいつ頃から行われてきたのか。

答 書類の保存年限が過ぎており、予算・決算の資料で、昭和35年に労働団体補助金として労働者の福祉向上の観点から交付していた

ことを確認している。支出の根拠は。

答 平成24年度までは、市補助金交付規則に基づき、25年5月からは労働団体等補助金交付要綱を新たに定め、交付している。

問 労働組合に加入する府内労働者の割合が、平均16.2%という現状の中、府内15市の内、北部の3市のみが補助金を支出している状況だが、延々と踏襲されてきた慣例によるのではなく、税金を財源とする補助金を

答 案件ごとに負担の協議をしており、断定的ではないが、その方向で、調整していただいている。

一から見直すべきでは。事業の内容や労働環境などを精査し、検討状況の報告を見て、見直すべきものは見直していきたい。

問 花火大会事故の被害者対応の状況は

答 保険による実行委員会

問 被害児童に対する学校現場での対応はどうか。

答 学校職員全体、スクールカウンセラーなどと連携して、学習支援と心のケアに努めていきたい。

問 花火大会を市が主催する可能性は

答 平成26年度予算で花火大会の補助金措置が見送られており、従来の主催者は、「もう主催しない」と言われているようだが、被害者救済が第一で、

問 教育委員会制度改革案について

答 政府内では、改革についての議論が進んでおり、自治体の長の関与を強める方向に向かっているが、教育行政の最終権限についての考えられるか。

答 教育委員会の形骸化が指摘されているなかで、国

今は検討する状況ではないが、被害者救済の状況や市民の声を聞きながら関係者、実行委員会とも協議していきたい。

問 教育委員会制度改革案について

答 政府内では、改革についての議論が進んでおり、自治体の長の関与を強める方向に向かっているが、教育行政の最終権限についての考えられるか。

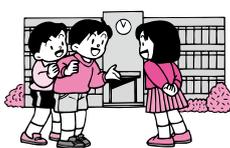
答 教育委員会の形骸化が指摘されているなかで、国

会審議を経て新しい教育制度が決まるが、個人の価値判断や特定の党派の影響力からの政治的中立と、一貫した方針の下で安定的に教育を行うための継続性や安定性の確保は重要なポイントで、最終権限については

問 教育委員会制度改革案について

答 政府内では、改革についての議論が進んでおり、自治体の長の関与を強める方向に向かっているが、教育行政の最終権限についての考えられるか。

答 教育委員会の形骸化が指摘されているなかで、国



教育委員会が責任を持っていかかわっていくような仕組みが望ましいと考えている。(教育長)



福知山未来の会

田中 法男 議員

定住自立圏構想の考え方と方向性

問 定住自立圏制度を活用して本市で取り組む目的は

答 京都府下で制度要件を満たすのは本市のみであり、平成26年度から本格的に取り組むたい。長田野工業団地をはじめとする事業所・

福知山市市民病院などの医療機関・高等教育機関の集積により、京都府内だけでなく兵庫県からも多くの人が集まっていて、地理的にも真ん中にある本市が先頭に立って、北近畿全体の活性化につなげたい。

問 圏域エリアなど取り組みの目指す方向性は

答 既に多くの連携をしている京都府北部7市町はもちろん、先の台風18号災害の際に多大な支援をいただいた兵庫県各市との間でも

連携素地は十分あると考えている。(市長公室長)

問 障害者歯科診療の北部拠点施設誘致

答 障害のある人専門の歯科診療所は京都市(二条駅付近)にしかなく、通院にかかる保護者の経済的・精神的負担が大きく、受診が進まない状況にあった。障害のある人が食事をおいしく味わえる環境を整えたいと

強く願い、近い場所です安心して治療を受けられるよう取り組んできた。

問 歯科診療所の概要は

答 設置場所は「公設地方卸売市場内の管理棟一階部分」に決定した。「一般社団法人京都府歯科医師会」が事業主体となり、平成26年

秋の開設を目指している。診療は完全予約制で、週に2〜3回午後1時〜4時で、8人程度の治療を行う計画である。



歯科診療所開設予定地

平成26年3月31日をもって全戸数が受け付け完了となることは困難である。本事業の繰り越しを議会に上程しており承認いただけるなら、すべての方が支援を受けられるよう、4月1日以降も受け付けし9月30日まで延長したい。

問 申請受付期限が平成26年3月31日となっているが

答 平成26年3月31日をもって全戸数が受け付け完了となることは困難である。本事業の繰り越しを議会に上程しており承認いただけるなら、すべての方が支援を受けられるよう、4月1日以降も受け付けし9月30日まで延長したい。

平成26年3月31日をもって全戸数が受け付け完了となることは困難である。本事業の繰り越しを議会に上程しており承認いただけるなら、すべての方が支援を受けられるよう、4月1日以降も受け付けし9月30日まで延長したい。



公明党市会議員団

足立 伸一 議員

地域包括ケアシ テムの構築は

問 住み慣れた地域で、まとまった医療・介護・生活支援サービスを受け、生涯、安心して暮らせる地域包括ケアシステムの構築に、市はこれからどう取り組むか。

答 今までも、個別ケース



どう利用する？旧小学校施設

をもとに、地域ケア会議での問題解決の検討や、モデル地域でのネットワーキング推進に、まい進してきたが、国、府の支援も受け、次期計画で、さらに充実を図る。

問 このシステムに旧小学校施設は活用できないのか。

答 ソフト面の構築が主である。また、学校施設は大きくすぎる。(福祉保健部長)

公共施設管理に 公会計制度改革を

問 多大な公共施設の運営、老朽化対策、膨大な建替え費用など、財政を直撃する課題が急浮上している。今後いくらかかるかを、適正に示すことが重要。この際、市が所有する土地建物や道路などのインフラ、ごみ処

理施設などを棚卸しして、金銭評価した固定資産台帳を作成すべきでは。

答 既存の公有財産台帳システムで対応することにしており、固定資産台帳整備は念頭にない。(財務部長)

再生可能エネルギー の条例化を

問 再生可能エネルギー調査会の報告を待つ段階を迎えており、小水力発電の実証実験も進んでいる。再生可能エネルギー推進を条例化する考えはあるか。

答 まちづくりの観点から研究課題である。(市長)

森林対策は 需要面の対策として木

問 需要面の対策として木材利用の拡大は進められているのか。

答 市単費の施策も行って。関係者の努力で利用も少しずつ増えている。(市長)

木製耐震ベッドなど新 規需要への取り組みは。

答 そのような利用方法も含め積極的に研究したい。森林所有者との情報交

換をどう考えているか。

市庁舎電気の入札 購入は

問 電力の小売り自由化により、市は庁舎で使用する電気を入札にけることに踏み切った。その背景は。

答 電気料金が値上がりしている。入札により約5%経費削減できればと思う。関西エリアの取り扱い事業者に参加を働きかけた。(総務部長)

議会 会 日 誌

2月～4月



〔2月〕

- 3日 広報広聴委員会
- 5日 議員報酬等検討委員会
- 5日 青森県黒石市議会行
- 政視察来市
- 全国市議会議長会評
- 議員会
- 6日 全国市議会議長会基
- 地協議会総会
- 7日 総務・文教建設委員

会現地視察

- 10日 全国市議会議長会高
- 速自動車道市議会協
- 議会理事会・総会
- 議会運営委員会
- 12日 京都市北部五市議
- 連絡協議会・研修会
- 14日 富山県砺波市議
- 政視察来市

〔3月〕

- 17日 議員報酬等検討委員会
- 由良川改修促進特別
- 委員会現地視察
- 18日 石川県羽咋市議
- 政視察来市
- 議会報告会
- 19日 京都市北部五市議
- ブック会議
- 20日 議会報告会
- 予算説明会
- 総務委員会
- 議会報告会
- 21日 議会運営委員会
- 3月定例会本会議
- 24日 広報広聴委員会
- 議会運営委員会
- 25日 各派幹事会

〔4月〕

- 26日 議員報酬等検討委員会
- 議会改革検討会議
- 17日 議員報酬等検討委員会
- 18日 予算審査特別委員会
- 19日 議会運営委員会
- 25日 総務委員会
- 26日 3月定例会本会議
- 総務・市民厚生委員会
- 全議員協議会
- 議会運営委員会
- 3日 広報広聴委員会
- 7日 議員報酬等検討委員会
- 9日 議会改革検討会議
- 14日 市民厚生委員会
- 各派幹事会
- 15日 近畿市議会議長会理
- 事会・定期総会
- 16日 総務委員会
- 17日 滋賀県甲賀市議
- 政視察来市
- 18日 広報広聴委員会
- 21日 全議員協議会
- 22日 議員報酬等検討委員会
- 議会改革検討会議
- 23日 富山県南砺市議
- 政視察来市

予算審査特別委員会

「ひととまちの
元気づくり」予算

平成26年度当初予算関係
37議案を審査

一般会計 406億1000万円
対前年度比でプラス1.8% 7億1000万円の増

予算総額

単位：百万止で記載（10万円単価を四捨五入）

会計区分	平成26年度	平成25年度	増減額	増減率
一般会計	406億1000万円	399億円	7億1000万円	1.8%
特別会計	212億6800万円	214億3900万円	△1億7100万円	△0.8%
企業会計	209億7500万円	180億7200万円	29億0300万円	16.1%
合計	828億5300万円	794億1100万円	34億4200万円	4.3%

3月定例会では、平成26年度予算案の審査をするため、全議員からなる予算審査特別委員会（野田勝康委員長、吉見純男副委員長）を設置し、3月6日（総務関係）7日（市民厚生関係）10日（経済関係）11日（文教建設関係）18日（総括質疑）19日（総括質疑、討論、採決）の6日間において精力的に審査を行い、本会議最終日の26日の討論を経て、採決の結果、全会計の予算案について、原案のとおり可決しました。

総務関係

Q 一般会計予算の歳入で、個人市民税が「減」、法人市民税が「増」を見込んでいる理由は。

A 法人市民税については、法人税割上位100社、他数社に対して予測調査を実施し8・22%の伸びとなった。また、均等割は平成26年1月現在の法人数で算定している。個人市民税は、所得割の納税義務者総数は増加しているが、所得区分の低い層へシフトしていることなどが減となる主な要因である。

Q 財源区分で依存財源が大きく増加している要因は。

A 学校空調施設設置や公共施設の耐震化などの施設整備を進めるにあたって、基金の繰り入れに頼ることなく、国庫補助金などの有利な財源を活用しながら、必要に応じて市債を発行する考えを基本に財源を確保した。

Q 市民会館・中央公民館改修事業の具体的な内容は。

A 「市民交流プラザふくちやま」のオープンに伴い、

市民会館・中央公民館の耐震化に併せて改修するもので、主に保健福祉機能の拠点化を行うとともに、4階は小規模多目的ホールとして整備する。



保健福祉機能の拠点化を目指す市民会館

Q 厚生会館改修基本構想策定事業について、将来的な計画と文化芸術会館建設基金との関係は。

A 今回整備された「市民交流プラザふくちやま」や市民会館と機能分担しながら、長く効率的に活用していくための基本構想を策定するもので、文化芸術会館建設基金の活用については、構想を策定する中で議論していきたい。

Q 防災情報緊急告知ラジ
才導入事業について、配備
区域、周知方法、期待され
る効果は。

A 緊急告知ラジオを10
00台購入し、由良川流域
の要配慮者へ手上げ方式で
配備する。電波をキャッチ
すれば自動的に電源が入り
大音量で情報が流れ、避難
が困難である要配慮者への
素早い情報伝達が可能とな
る。今後、対象となる自治
会や自主防災組織、民生委
員とも連携し普及に努めて
いきたい。

Q ブロードバンドの加入
促進策として、民間会社と
協議・連携していく考えは
あるのか。

A 各社経営戦略がある中、
現状では意思疎通が困難で
あるが、今後、積極的に働
きかけていきたい。

市民厚生関係

Q 臨時福祉給付金事業
について、周知方法、受
付期間、受け取り方法、
DVなどで住民票のない
方への対応は。

A 市民税申告の案内に入

れたり、広報ふくちやまで
制度の概要、申請書送付依
頼について掲載するととも
に、4月には全戸配付によ
る案内を予定しており、新
聞広告も検討している。受
付期間は3カ月間、特別な
場合は6カ月間であり、新
年度になれば早く実施した
い。支払いは原則振り込み
とし、現金給付も可能とす
る。DVなどで住民票を移
した場合は転入先の市町村
から交付される。

Q 民間保育所運営事業に
ついて、予算増となった
具体的理由は。

A 保育士確保に向けた給
与引き上げや、光熱水費の
補助、災害対応の防災無線
機や受信ラジオを配置する
ための予算措置である。

Q 難聴児補装具給付事業
について、助成要件と対象
人数、助成方法は。

A 身体障害者手帳の交付
が受けられない18歳未満の
軽度、中程度の難聴児が対
象で、基準の補聴器は高度
難聴用耳かけ型とイヤーフ
ールドを合わせた物で2分
の1を助成する。交付申請
時に医師の診断書、補聴器

の見積書を添付し、購入後、
領収書を提出いただき、償
還払とする。所得制限は保
護者の属する世帯の最多納
税者の市民税所得割額が46
万円未満で、対象人数は10
人である。

Q 自動交付機移設事業に
ついて、市役所玄関横にあ
る交付機をなくしてよいも
のかと思うが、今後検討の
余地はないのか。

A 全く検討の余地がない
ということではないが、利
用状況を見ながら、当面は
交流プラザでの利用をPR
していく。



移設前の自動交付機（市役所1階）

Q 滞納金額、差し押さ
え件数、短期証と資格証の件
数は。

A 平成24年度決算で、滞
納額2億5812万682
4円、差し押さえ件数50
8件、平成26年3月1日現
在で、短期証549件、資
格証95件である。

Q 地域包括支援センター
運営事業について、地域ケ
ア会議の取り組みは。

A 平成26年度からの実施
に向け、現在、成和圏域で
モデル的に実施しており、
月2回、個別事例の検討を
行っている。

Q 病院の職員が増員にな
った診療科はどこか。

A 脳外科、産婦人科、内
科、小児科が各1人増、麻
酔科が2人増、9月からは
救命救急棟運用開始に伴い、
看護師が9人増となる。

経済関係

Q 立地企業等従業員住宅
使用料予算額259万20
00円の算出根拠は。

A 8人分の家賃が240
万円、共益費と駐車料がそ
れぞれ9万6000円であ

る。

Q 大呂自然休養村整備事
業の財源と事業内容は。

A 財源は辺地対策債であ
り、事業内容はセンターの
建設およびグラウンドゴル
フ場拡張整備などを行うも
のである。



大きく拡張される
大呂自然休養村センター

Q 府宮ため池整備事業は、
異常気象にも対応した安
全・安心な事業内容なのか。

A 農業用としてのため池
のほか、防災面からも住民
の安心安全に対応できるよ
うに、京都府とも十分な協
議を行うこととしており、
平成26年度は実施設計を行
う。

Q 建設業若年者等入職促
進・人材育成事業について、
その事業内容や他の団体と
の連携状況、雇用に関する
課題は何か。

A 平成24年度から指定管
理者制度を導入しており、
その制度の届出を平成25年
8月27日に行ったため、平
成26年度予算には計上しな
かった。

文教建設関係

Q 新規事業の市営住宅明
渡し事業について、内容と
事業効果の説明を求めら
れる。

A 平成24年度決算におい
て、市営住宅の滞納件数は
153件あり、未収額は過
年度を合わせて総額550
0万円に上っている。また、
滞納額100万円以上の悪
質なもの17件ある。滞納
額が膨らんでいる状況を打
開し、徴収率の向上を目標
として、強制執行の業務委
託を行っていきたい。

Q 放課後児童クラブ運営事業の拡充について、所管変更と事業内容は。

A 平成26年度より子育て支援課から生涯学習課に所管変更をする。教育委員会が所管することにより、学校とより一層の連携が図れると考えている。事業内容については、平成28年度をめどに全クラブで6年生まで受け入れたいと考えており、その準備に向けて2校のクラブ棟の増設、利用する幼稚園2園の改修費用を予算計上している。



放課後児童クラブで宿題に励む児童たち

Q 小中幼施設空調設備設置事業の実施予定はいつか。

A 平成26年度は小中8校117教室に空調設備の設置を行い、実施率は34・6%となる。平成29年度にはすべて完了したい。

Q 石原土地地区画整理事業特別会計予算にかかり、これまでの単価改定による売却実績と今後の売却見通しは。

A 保留地の売却状況は151筆、8億5318万5467円となっている。売却が99筆、金額にして10億801万2075円あり、筆数も多くすぐに売却できるとは考えていないが、できる限り努力し、早期に売却して事業を閉鎖していきたい。

総括質疑

Q 消費税増税に伴う市税への影響や市債発行の考え方は。

A 市税の主要税目である個人市民税は前年の所得、固定資産税は本年1月1日の資産が課税対象であることから、平成26年度の税収への影響はないと考えている。また、市債発行にあたっては、合併特例債や過疎債、辺地債などの充当率、交付税算入率とも有利なメニューを最大限活用することで、実質的な市負担額を抑制す

ることを基本的な方針としている。

Q 入札制度改革等検討委員会の目的と、その内容や委員会に期待する役割は何か。

A 入札における競争性・透明性、公平性の向上や市内中小企業の受注機会の拡大をめざし、今後の入札契約制度の改善方策などについて意見を聞くために設置したものである。委員は入札制度や法令関係などに精通した大学教授や弁護士、広域的な社会的視点や市民目線を有するジャーナリストに就任してもらい、現行制度の評価・検証も含め、中立・公正な立場で広い見地から議論してもらっている。

Q 公立保育園の民営化などについての考え方は。

A 多様化する保育ニーズに柔軟、迅速に対応していくための民間保育園の運営手法は、効率的・効果的と考えている。一方、公共性を持つ公立保育園に安心感を持たれている保護者もある。今後は公立保育園、民間保育園それぞれの特徴を

活かした保育を展開していきたい。大きな課題である保育士の確保に向けて、保育士の処遇改善を図るため、民間保育園の保育士給与増額のための補助や保育士の資格をもった人が現場へ復帰するための研修助成を予算化している。

Q 消費税増税における中小企業への支援策に対する見解は。

A 公益社団法人京都産業21の専門家派遣制度の利用支援を新規事業として計画している。また、従来からの商工団体の活動支援、中小企業サポートセンターを通じた有益情報の発信、小規模企業者への融資や利子補給などの継続実施、さらには、販路開拓支援事業の対象範囲の拡大を行ってきたい。

Q 由良川改修や内水対策の早期完了に向けての考え方は。

A 由良川改修については、今回、国から大幅な前倒しという大きな支援をいただいたので、事業進捗を加速させ、一日も早く完了するよう国・府と協調して事業

に協力していきたい。そのためには、堤防を建設するための用地の確保がまず必要となることから、国の事業が順調に進捗するよう関係職員を増員したい。また、堤防整備に関連した京都府管理施設の整備への要望、市管理施設の改修に積極的に対応したい。さらには内水対策については、地元の理解・協力を得ながら、堀地区と土師地区を同時並行で進めていきたい。

Q 地域情報通信ネットワーク事業について、事業の検証や方向性について見解を問う。

A 利用者のサービス向上や持続可能なシステム管理をめざし、施設マネジメントの一環として事業全体を検証していく。現在、庁内関係部局において検討を進めており、今後は第三者にも入ってもらい検証したい。

Q 新大江病院の公設公営化の方策や市民病院の分院に移行するための準備体制は。

A 新大江病院は病院運営の要となる医師確保が困難な状況であり、地元からは

市民病院と一体的な運営以外に存続の道はないとの切実な要望を受け、庁内で検討・調整を進めた結果、平成27年度から市民病院の分院の運営を行うこととしたものである。現在、建物関係を中心に現状把握を進めているところであり、今後運営状況などの詳細な調査を本格化させる中で、さらに準備内容を詰めていく必要があると考えている。



公設公営になる新大江病院

3月定例会 各常任委員会審査報告

総務

持続可能な財政構造推進に向けた 当初予算、補正予算、条例改正を可決

主な議案審査

▼平成25年度一般会計
補正予算(8号)

合併特例債の発行限度は

よび限度額の数値状況は。

合併特例債の発行限度額は269億7700万円である。平成25年度末発行見込額累計は175億8450万円である。

平成26年度から平成32年度まで93億9250万円の発行が可能であるが、中長期的な財政計画により、持続可能な財政構造を確立していきたい。

▼平成25年度一般会計 補正予算(9号)

歳入と中期財政見通しは

問 市民法人税について、前年度と比較して税収が減少した業種とその内容は。

答 製造業が8%減少、税額は3485万円となっている。

問 行政財産が普通財産に変更されているが、基準財政需要額の変動による地方交付税減少への影響はどのようなものか。

答 行政財産の内、交付税対象に算入されている施設を普通財産に変更した場合、基準財政需要額の単位費用が減少し、翌年度から普通交付税は減額されることになる。

問 地域情報ネットワーク事業繰出金事業で6億1810万円の償還期間を短縮すると、償還金利息をどれくらい圧縮できるのか。

答 京都府とも調整を行い、償還期間を15年から10年に縮減する。元金に対しての利息は、変更前は6709万円が、変更後は3718万円となり約2991万円の利息が圧縮される。

火災予防条例の改正

問 福知山市火災予防条例の改正内容は。

答 総務省消防庁は、福知山市花火大会火災の再発防止に向け徹底した検証を行い、全国に向けて条例例が発信された。本市も、この趣旨にのっとり露店100店舗を越える規模の催しを、指定イベントとして位置づけ、防火管理計画の届け出や安全講習、消火器設置など義務づけている。安心・安全を第一優先に、イベントが開催できるよう周知徹底を図りたい。

市民厚生

災害見舞金の繰り越し、 KTR経営支援など補正予算を可決

主な議案審査

▼平成25年度一般会計
補正予算(第9号)

子宮頸がん 予防ワクチンは

問 市内で重篤な副反応の事例は今までにあったのか。

答 健康被害調査委員会に諮る症例報告はなかった。

児童手当の減は

問 手当の対象人数と減額の理由は。

答 計画時より延べ人数で約4000人弱減少している。出生数は微増だが、転出が多かったためだ。

生活保護は

問 扶助費が大きく減っている理由は。世帯と人員の推移は。

答 就労世帯の増加などにより申請数が減った。平成24年度末には777世帯1225人が、平成26年1月末は765世帯1109人

となっている。

問 災害見舞金の繰越はなぜか、対象世帯は流動しているのか。

答 被災区分が変更となる場合があり、もう少し推移を見守る。支給世帯数は、床上浸水以上で664件の見込みだ。

KTRの経営支援は

問 補正予算の内容は。

答 線路のメンテナンスにかかる人件費、除雪、車両の保守点検および電気関係のメンテナンスなどの人件費だ。

問 今後の事業展開は。また、線路、トンネルなどの老朽化対策はどうか。

答 上下分離方式(運行は民間が行い、車両などの基盤は沿線自治体が負担する)の手続きを昨年10月に終えた。事業運営への応募は複数社あると聞いている。国の指導も受けながら、事

業所選定を行う。



乗って守ろうKTR

▼平成25年度国民健康
保険事業特別会計
補正予算(第5号)

問 昨年保険料の値上げが行われた。今年度予算にどう反映されているのか。

答 昨年、平均保険料を5000円値上げした。国保は年金者や非正規労働者など低所得の人々が多く加入し、医療費が膨らむとおのずと保険料を上げざるを得ない仕組みだ。平成29年には府一元化の話もあり、推移を見守りたい。(すべて全員賛成で可決)

平成25年度の補正予算を可決

主な議案審査

▼平成25年度一般会計補正予算(第8号)

有害鳥獣防除事業

防除柵の設置状況は。

市全域での設置年数5年以内の有効延長は、今回の補正予算を含めると約500kmになる。

有害鳥獣処理施設整備事業

地元への説明などは。

1月28日に大江地域の全自治会長に説明・報告させてもらった。建設地である三河自治会の同意をいただくことを最優先に進めてきた。

▼福知山市農業委員会に関する条例の一部を改正する条例の制定ほか6議案

簡易水道施設災害復旧事業

大江町中央簡易水道復旧工事の完成時期などは。

厚生労働省所管の災害査定で、ほぼ全額となる98

%の査定を受け、3月5日に契約が完了した。ポンプの作成に約3カ月の時間を要するが、農地の復旧と調整しながら、工期的には8月末を見込んでいる。

野菜生産施設災害復旧事業

ハウスの復旧の減額補正の理由は。

ハウスを再建せず、施設栽培から路地野菜に変えられたためである。

茶生産施設災害復旧事業

製茶工場3施設が被害を受けたが、復旧の減額や今後の生産・加工は。

被災した1つの製茶工場については、復旧を取りやめ近隣の製茶工場を利用される意向であり、お茶の生産を止められた訳ではない。また施設の再利用に向けて、検討を頂いている。

農地・農業用施設災害復旧事業

復旧工事の状況は。

現在、契約、入札事務を進めており、工事の発注率は95%となっている。復

旧が農期に間に合うかどうかについては、農家の方の耕作意欲が低下しないよう農区長ともよく連携し災害復旧に努めていきたい。まづ、復旧については、ポンプ・水路の改修を重点的・優先的に取り組んでいる。農村研修集会所施設条例を廃止する条例の制定

農村研修集会所施設条例を廃止する条例の制定

利活用の状況と行政財産から普通財産とすること

農業者だけの集会所施設

としての利用は減っている。地域からはコミュニティ活動の場として活用したいとの要望もあり条例を廃止するものである。今後の施設の維持補修については、現在、国からの補助は受けておらず財源面で変わることはないと考えている。

(すべて全員賛成で可決)

国の経済対策による補正予算、条例改正などを可決

主な議案審査

▼平成25年度一般会計補正予算(第8号)

【国の経済対策関係】

通学路安全対策としての歩道整備、橋りょう長寿命化計画策定、修繕などを実施

橋りょう修繕の優先順と長寿命化計画策定の見通しは。

迂回路の有無、路線の重要度と合わせ、橋りょうの健全度の低いものを優先している。また、全般的な点検と長寿命化計画策定には長期間を要すると考える。

高橋橋架け替えに向け、橋脚2基の工事前倒し

工事全体の竣工時期は。

橋は平成29年6月に暫定供用を開始し、その後、旧橋の撤去などを経て、最終的な事業完了は平成31年3月を予定している。

学校施設の耐震化を進め耐震補強工事を前倒し実施

前倒し工事が完了した時点での学校施設全体の耐震化達成率は。

全体で95・1%の達成率になる。



耐震補強が完了した学校教室棟

請の状況は。

災害規模が大きく広範囲のため、早い時期から修繕をしているが、手が回らない状況で、補助の受付を9月30日まで延ばして対応したい。

庵我幼稚園を廃園

放課後児童クラブに転用

廃園後の使用用途は。

休園中と同様、庵我小学校の放課後児童クラブとして使用する。また、夏休み中は福知山市全体の児童クラブとして使用していきたい。

勤労青少年ホーム廃止

教育支援センターに転用

転用施設の機能面はどのように考えているのか。

なるべく個室を多くとり、個別相談に配慮していきたい。

(すべて全員賛成で可決)

▼平成25年度一般会計補正予算(第9号)

地域再建被災者住宅等支援事業や道路橋りょう・河川災害復旧事業、大江町総合会館災害復旧事業などを次年度に繰り越し

台風18号により被害を受けた住宅の修繕と補助申

意見書の状況

雇用の安定を求める意見書

我が国は、働く者のうち約9割が雇用関係の下で働く「雇用社会」である。福知山市においても日本有数の内陸型工業団地である長田野工業団地をはじめ、多くの労働者が雇用関係の下で働いている。

この「雇用社会日本」の主たる構成員である雇用労働者が、安定的な雇用と公正な処遇の下で安心して働くことができる環境を整備することが、デフレからの脱却、ひいては日本経済・社会の持続的な成長のために必要である。

このような状況で、現在、雇用に関するルールの改正についての議論が政府内でなされている。その議論には、「金銭による解雇ルール」の検討や「ホワイトカラー・イグゼンプション」の導入、「限定正社員」の普及、また、労働者派遣法の見直しも含まれているが、これらの改正は、雇用の安定と雇用条件の向上に資するものでなければならない。

政府の描く成長戦略には、個人消費の回復が非常に大きな要素として含まれている。そのためには、雇用を安定させ、個人所得を向上させることが必要不可欠である。そのことを通じて、政府が掲げる「経済の好循環」が達成されるものだと考える。

また、政府内の議論は労働政策に係る基本方針の策定のあり方にも及んでいる。このような際には、労使同数参加の審議会を通じて政策決定が行われるべきことが国際労働機関（ILO）の諸条約にも定められている。そのため、我が国では「労働分野の法律改正等については、労働政策審議会（公労使三者構成）における諮問・答申の手続きが必要」とされており（厚生労働省HP、「労働政策審議会」より）、こうした手続きにより議論が進められるべきであることは言うまでもない。

こうした現状に鑑み、本議会は、政府に対して、下記の事項を要望する。

記

- 1 不当解雇無効の判決を補償金支払いで覆せるような「金銭による解雇ルール」の制定、正社員の道を狭くし、現在の正社員の地位も不安にさせる「限定正社員」の普及、超過勤務手当の不支給を求めることにより過大な長時間労働を誘発する恐れのあるような「ホワイトカラー・イグゼンプション」の導入についての検討は慎重にされるべきこと。
- 2 低賃金や低処遇のまま派遣労働の拡大につながりかねない法改正ではなく、派遣労働者のより安定した直接雇用への誘導と処遇改善に向けた法改正を行うべきこと。
- 3 雇用・労働政策に係る議論はILOの三者構成主義に則って、労働者代表委員、使用者代表委員、公益委員で構成される労働政策審議会で行われるべきであること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成26年3月26日

衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣 厚生労働大臣 経済再生担当大臣 内閣府特命担当大臣 様

本会議を傍聴しませんか



本会議は、市役所本庁舎6階の受付で、所定の用紙に氏名を記入し、傍聴席（定員60人）において傍聴できます。

なお、団体で傍聴を希望される場合は、事前に市議会事務局までご連絡ください。

福知山市役所来庁者駐車場を利用される方は、90分を超えると無料駐車券を発行しますので、市議会事務局まで申し出てください。 市議会事務局 TEL 0773-24-7031

6月定例会の予定（23日間）

6月 5日（木）	本会議（提案理由説明）	6月 19日（木）	常任委員会
16日（月）	本会議（質疑、一般質問）	20日（金）	常任委員会
17日（火）	本会議（一般質問）	26日（木）	本会議（採決）
18日（水）	本会議（一般質問）	27日（金）	（会期）

※この議会予定は、今後変更になる場合があります。また、このほかに、全議員協議会などの会議を随時開催します。

3月定例会の議決結果について

■全員賛成で可決となった議案

議第138号	平成26年度国民健康保険診療所費特別会計予算	議第167号	保育所条例の一部改正
議第139号	平成26年度と畜場費特別会計予算	議第169号	農業委員会に関する条例の一部改正
議第140号	平成26年度簡易水道事業特別会計予算	議第170号	福知山市都市公園条例の一部改正
議第141号	平成26年度宅地造成事業特別会計予算	議第171号	社会教育委員の定数等に関する条例の一部改正
議第142号	平成26年度休日急患診療所費特別会計予算	議第172号	青少年問題協議会条例の一部改正
議第143号	平成26年度公設地方卸売市場事業特別会計予算	議第173号	市民会館条例を廃止する条例の制定
議第144号	平成26年度農業集落排水施設事業特別会計予算	議第174号	財産の無償譲渡
議第145号	平成26年度福知山市都市計画事業石原土地区画整理事業特別会計予算	議第175号	辺地総合整備計画の変更
議第146号	平成26年度福知山市都市計画事業福知山駅周辺土地区画整理事業特別会計予算	議第176号	過疎地域自立促進市町村計画の変更
議第147号	平成26年度介護保険事業特別会計予算	議第177号	平成25年度一般会計補正予算(第8号)
議第148号	平成26年度大江都市計画事業河守土地区画整理事業特別会計予算	議第178号	平成25年度一般会計補正予算(第9号)
議第149号	平成26年度下夜久野地区財産区管理会特別会計予算	議第179号	平成25年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第5号)
議第151号	平成26年度地域情報通信ネットワーク事業特別会計予算	議第180号	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)
議第152号	平成26年度水道事業会計予算	議第181号	平成25年度宅地造成事業特別会計補正予算(第3号)
議第153号	平成26年度下水道事業会計予算	議第182号	平成25年度福知山市都市計画事業福知山駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)
議第154号	平成26年度病院事業会計予算	議第183号	平成25年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
議第156号	消防長及び消防署長の資格の基準を定める条例の制定	議第184号	平成25年度地域情報通信ネットワーク事業特別会計補正予算(第2号)
議第157号	福知山市附属機関設置条例の一部改正	議第185号	学習等共用施設条例の一部改正
議第158号	ファームガーデンやくの条例の一部改正	議第186号	火災予防条例の一部改正
議第159号	市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	議第187号	有線放送施設設置条例を廃止する条例の制定
議第160号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	議第188号	福知山市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正
議第161号	市長及び副市長並びに上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部改正	議第189号	農村研修集会施設条例を廃止する条例の制定
議第162号	教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部改正	議第190号	市立学校設置条例の一部改正
議第163号	旅費支給条例の一部改正	議第191号	勤労青少年ホーム条例を廃止する条例の制定
議第164号	消防手数料条例の一部改正	議第192号	損害賠償の額
議第165号	消防団員等公務災害等補償条例の一部改正	議第193号	市道の認定及び路線変更
議第166号	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	議第194号	土地改良事業の施行
		議第195号	固定資産評価審査委員会委員の選任
		議第196号	人権擁護委員の候補者の推薦
		議第197号	人権擁護委員の候補者の推薦

■議員別議案賛否一覧表(賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています)

議案	会派別議員名 (議決結果)	議決結果	日本共産党 市会議員団					公明党 市会議員団			福知山 未来の会		福政会				維新 福知山		希望の会		無会派			
			塩見卯太郎	足立進	大槻富美子	中島英俊	吉見純男	足立伸一	大谷洋介	吉見茂久	森下賢司	田中法男	芦田眞弘	野田勝康	和田正隆	木戸守	谷口俊	稲葉辰郎	高宮正樹	塩見日出勝	田淵裕二	桐村一彦	谷垣和夫	藤田守
議第136号	平成26年度一般会計予算	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第137号	平成26年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第150号	平成26年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第155号	福知山北部地域多目的グラウンド条例の制定	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第168号	国民健康保険条例の一部改正	可決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市会発意第1号	雇用の安定を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 -：棄権 ※奥藤見議員(福知山未来の会)は、議長職のため表決に加わっていません。

総務委員会

建設中の市民交流プラザふくちやまを視察

活動日 2月7日

●JR福知山駅前北口に建設中の「市民交流プラザふくちやま」を総務委員会・文教建設委員会で合同視察を行った。建物内部は、工事関係の資材が、通路に置かれ床や天井・照明設備などの工事が施工中であり、建物内部の構造や部屋の用途や広さについて、図面を基に説明を受けた。2階室の東側に存在感があるガラス張りの自動書庫が設置されており、貯蔵20万冊の中から目的の図書を2〜3分で選別し、貸出窓口まで搬出する内部構造や作動状況が利用者から見えるようになっていている。駅北公園側は、全面ガラス窓で、室内全体に自然光が届き、非常に明るく開放的な構造になっている。

●視察後直ちに委員会を開催し、施設に関する質問項目を取りまとめて担当部局へ提出した。



市民交流プラザふくちやま(愛称:ききょう) 2階建設現場

●JRA福知山駅前北口に建設中の「市民交流プラザふくちやま」を総務委員会・文教建設委員会で合同視察を行った。建物内部は、工事関係の資材が、通路に置かれ床や天井・照明設備などの工事が施工中であり、建物内部の構造や部屋の用途や広さについて、図面を基に説明を受けた。2階室の東側に存在感があるガラス張りの自動書庫が設置されており、貯蔵20万冊の中から目的の図書を2〜3分で選別し、貸出窓口まで搬出する内部構造や作動状況が利用者から見えるようになっていている。駅北公園側は、全面ガラス窓で、室内全体に自然光が届き、非常に明るく開放的な構造になっている。

●視察後直ちに委員会を開催し、施設に関する質問項目を取りまとめて担当部局へ提出した。

交通安全対策などの概要は、④デザイン上での隙間や角の部分が見受けられるが、子どもが集う場であること、⑤当初の行程から若干遅れがあるように思われるが、オープンの時期は、など5項目の質問事項を市長公室に提出した。

【市長公室からの回答】
 ①すべてのガラス窓は建築基準法の安全基準を上回る強度を確保している。
 ②カーテンや図書館システムなどで、入札を行い4月中旬の完成予定である。
 ③道路側から場内を見通すことができる駐車場は100台まで利用可能となっている。近隣大型店との混雑回避に配慮した車両出入口とした。
 ④隙間はコーキングを施し、安全を確保する。
 ⑤4月21日にプレオープン、グラントオープンは6月下旬を予定している。

市民厚生委員会

先進地行政視察

訪問しました!

活動日 1月21日〜23日

塩尻市(長野県)

ロマン大学・大学院

高齢者生きがいづくり

高齢者福祉施策の生きがいづくり事業として取り組まれている。定員80人、2年課程で卒業となる。年25回の学習プログラムが組み、運営は受講生が委員を務めている。授業料は年間一人、1万円。高齢者から喜ばれ、担当市職員もやりがいを感じる事業の在り方について、おおいに学ぶところがあつた。

佐久市(長野県)

JA厚生連

佐久総合病院

「予防は治療に勝る」

1959年、全国に先駆け全村民を対象に集団健診

を手掛けた有名な病院である。

患者を中心として医療、介護、福祉、生活支援を切れ目なく連続させるために地域ケア科を設立(平成6年)し、在宅医療、在宅福祉の取り組みが進められている。

介護保険や医療体制が変わる中で医療、介護、福祉の連携についての方向が見える有意義な視察となった。

市立浅間総合病院

草の根健診に

1955年から予防と診療を一本化して草の根健診が進められてきた。

長野県は長寿日本一、高齢者の就業率日本一だ。

保健補導員連絡協議会が設立され健診の勧め、健診の手伝いなどの活動が行われており、受診率の高さはこういう活動に裏打ちされ

たものだと感じた。

上田市(長野県)

子育て支援センター

●集い、遊び、学べるセンター

未就園の子どもと保護者がともに集う「遊びの広場」が市内7カ所、市直営で実施されている。スタッフはすべて保育士資格を持ち、出張子育て広場や子育てサポーター養成講座の開催も行われていた。たくさんの親子の参加で子育てに対する市の情熱が伝わる視察だった。



上田市での研修

経済委員会

有害鳥獣対策研修会を実施

活動日 1月20日

演題/但馬地域における被害対策の担い手育成と体制作り

講師/上田剛平氏(兵庫県但馬県民局朝来農林振興事務所)

講演内容

●**但馬地域の被害の傾向**
シカ被害は但馬北部への拡大中、増えては減つての繰り返し。

●**獣害問題はなぜ減らないのか**
兵庫県のこれまでの基本的対策である。防護柵の設置はどんどん進み「万里の長城」化、シカの捕獲数は上がり、平成22年度以降3万頭を突破しどちらも必要な対策であるが、獣害対策の課題設定としては不十分「対策の担い手の確保と育成」が重要課題である。

●**「獣害シャットアウト作戦」をスタート**

① 獣害対策マイスター育成スクールの概要

事業の背景と目的/わな猟免許取得者は増加、最も捕獲効率のよい狩猟方法はくくりわな、わな猟免許得者に対してくくりわな猟普及、まずは猟期でのくくりわな捕獲を推進。

スクールの目的/狩猟に関心のある人の掘り起こし、わな猟、銃猟の技術修得、狩猟者の責務、狩猟の魅力を学ぶ、よい「師匠」や同年代の狩猟仲間との出会い、持続的な捕獲活動への従事、技術の向上、将来は地域の狩猟者の中核的役割を担う。

② 鳥獣害対策マイスター育成スクールの実績
目標/5年間で50確保・育成→広域的・公益的な捕獲活動の担い手の確保・育成を目指す。

●**シカ箱わな・囲いわな大量捕獲大作戦**
事業の背景と目的/シカ・イノシシの捕獲の多くは狩猟者に依存、マイスターで育成しても狩猟者の減少は不可避、持続的な捕獲活動には、捕獲協力者としての集落住民のサポートが不可欠、集落の箱わな・囲いわなの捕獲効率を向上。

●**くくりわな捕獲技術講習会**



研修会(但馬県民局朝来農林振興事務所)

活発な意見交換、質疑応答もあり、兵庫県との地域格差はあるものの全体として有害鳥獣問題に対する共通の認識を深めるものとなり当初の目的を十二分に達成することができた。

文教建設委員会

管内現地視察と先進地行政視察

夜久野学園と学校給食の始まった成和中等視察

視察日 1月14日

●**夜久野学園開校後の状況**
特例校として「ICT教育」と「英会話教育」に力を注ぐ取り組みの説明を受けた。

●**成和中で給食の試食も**
給食の到着から配膳を見学し、給食の試食も行った。

九州北部の3市と1町を行政視察

活動日 1月20日~22日

福岡県筑前町(20日)

●**いじめ自殺事件を発端に『子どもの権利条例』制定**
子どもの権利侵害に対する相談機関や救済機関の機能・役割、条例制定の意義について説明を受けた。

福岡県小都市(21日)

●**指定管理方式から市直営に戻した図書館運営**
指定管理では、学校や他の行政機関と連携した取り組みが必要となっても議会や教育委員会に説明する権限がないなどの問題が生じ、事務手続きが非効率として市直営に戻された。

図書館指定管理の問題点について見識を深めた。

福岡県大牟田市(21日)

●**建替えて、レストランと集会所、高齢者介護施設が複合運営される市営住宅に**
設計段階から運営事業者である社会福祉法人が加わり、市営住宅や地域を積極的にサポートしていく仕組みを作った事業。都市整備部と福祉保健部の2つの部署が連携して行った取り組みで、大きな成果を上げている。

佐賀県武雄市(22日)

●**鳥屋書店とスターバックスが入る指定管理の図書館**
図書館のあり方に疑問を抱いていた市長の発案で図書館運営を指定管理に変更。市民へのリサーチで分かったのは雑誌の充実とカフェの設置。年35日あった休館日はなくなり、朝9時~夜9時まで年中無休で開館する。図書館のあり方を考えさせられる一例。



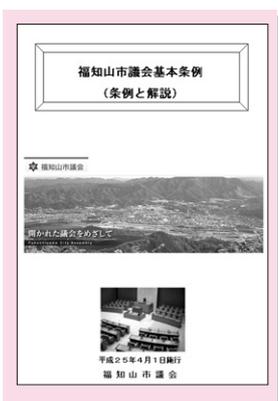
開放的で快適な武雄市図書館

議会改革検討会議

議会改革検討会議は、平成25年4月の議会基本条例施行を受けて設置されました。
 会議は、市議会各会派からの選出委員と副議長がオブザーバーとして参加し、議会改革に関する事項を協議しています。

平成25年度活動内容

「議会基本条例の解説」の作成



条例の内容をわかりやすく解説するため、解説版を作成しました。また、市議会ホームページにも公開しています。

「市議会における災害等発生時の対応要領」の策定
 議会基本条例では、議会は災害が起きたときには、市民および市長との間で情報の共有化を図り、迅速な対応に努めることを規定しています。

そのため、議会改革検討会議では、市議会における災害等発生時の対応要領を策定し、市内において災害などが発生したときに、議会および議員がとる対応について、必要な事項を定めました。

〔主な内容〕

- ・ 正副議長による情報収集など
- ・ 各派幹事会による情報共有など
- ・ 全議員協議会の招集、情報共有、議会対応の確認など
- ・ 議員の被災地、避難所などにおける情報収集、協力など

現在は、平成26年度の調査研究テーマとして、①委員会構成のあり方、②自由

討議（議員間討議）、③議会改革先進地事例の調査などについて協議を進めています。

議会改革検討会議は、今後も継続的に、市民に開かれた議会を目指して、市民が主体の市政を実現するために、議会のより良い形や議員のあるべき姿を追い求めていきます。

議会改革検討会議

委員長	田中 法男
副委員長	吉見 純男
委員	稲垣 司郎
委員	吉見 茂久
委員	藤田 守
委員	塩見日出勝
委員	野田 勝康
オブザーバー	大谷 洋介



委員会の協議風景

由良川改修促進特別委員会

視察日 2月17日

由良川改修促進特別委員会による、舞鶴市地頭地区の宅地嵩上げの現場視察を行いました。現地では、国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所調査第一課善本建設専門官ならびに、地元地頭地区佐藤自治会長より、詳細な説明を受けました。

由良川流域の地頭地区では、由良川下流部緊急水防事業で、宅地嵩上げ予定地区となっており、28戸の宅地嵩上げが予定されています。すでに工事が完成している家屋もあるが、現在4～5戸の家屋が宅地嵩上げの施工中です。工法は、当該家屋で生活を継続しながら、家屋のジャッキアップを行い、工事を進める工法と、空き家にして、曳家を行う工法との2種類で工事が進められています。

対象の世帯には、補償費として、費用が支払われているため、被補償者の判断で、追加の工事なども可能

説明会 2月27日・28日

となつていきます。また、市外の曳家業者と地域の工務店が連携し、施工範囲を調整しながら効率的に工事が進められています。

今回、現場で詳細な説明を受け、曳家工事などの特殊性について、理解を深める事ができました。今後、福知山市でも、由良川流域の下流部地域を中心に宅地嵩上げの工事が行われることを踏まえ、当委員会でも、引き続き調査研究をしっかりと行っていきます。なお、今回の視察では、地頭地区の自治会長様にも立ち会っていただいたことで、住民側の視点でも話を聞く事ができ、有意義な現場視察となりました。

市民会館で国土交通省近畿地方整備局福知山河川国道事務所の主催で、「緊急的な治水対策の概要等に関する説明会」が開催され、由良川改修促進特別委員会の委員ほか、由良川中・下流部の自治会長ならびに関連委員会の皆さまが多数出席され、国交省から、平成25年9月台風18号出水概要および緊急的な治水対策について説明を受けました。



宅地嵩上げ工事施工中の民家

第5回

議会報告会

報告の概要

9月定例会

当初提案の一般会計補正予算、追加提案された災害関連の補正予算や条例制定・改正、物品の取得、工事請負契約の締結などの審査状況の報告をしました。

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会の意義・目的やライブ中継、録画放映の導入についての紹介をしました。

10月臨時議会

災害被害からの早期復旧をするための補正予算と条例改正などの審査状況の報告をしました。

12月定例会

一般会計補正予算と特別会計・企業会計補正予算や条例改正、指定管理者の指定などの審査状況の報告と、意見書・決議の状況についての報告をしました。

その後、3会場とも事前に地域へお伺いし、あらかじめ設定いただいたテーマをもとに意見交換会を行いました。



庵我会場

報告に対する質疑

防衛施設周辺整備事業の内容を問う質疑や大江支所の災害復旧に対する考え方の登録有形文化財である惇明小学校管理棟の耐震改修再調査事業に関連した質疑などがありました。

意見交換会の内容

●10年間で430億円の治水対策が打ち出されたが、議会としていつまでにするかを導き出してほしい。
●国の行う事業であっても、地域の窓口は市議であり、

地域の意見を吸い上げ上申してほしい。

●議会だよりに賛否の状況が記載されているが、その理由が明記されていない。

●土師・堀地区の貯留槽の設置時期はいつごろなのか。

●有害鳥獣対策における処理施設の状況と食肉加工の推進や防護柵設置に係る人的支援について。

●市ノ谷公園周辺のゴミの不法投棄や不法駐車への対応について。

●以前に比べて周辺道路のゴミが減少したが何か対応をしていただいたのか。

●各地域とも消防団確保が難しくなっている。学区単位での編成とらないか。

●道路が狭く、救急車も入らない道がある。

●防災無線について地元からは個別受信機の導入を要望しているが設置は難しいのか。

●教育委員会のあり方について議会はどのように考えているのか。

●2度目の浸水となったが災害時復旧に対する考えはどのようなものか。

●入居率の悪い市営住宅があるが対応はどのようなものか。

●災害時の情報伝達について放送に緊迫感がなく、分かりづらい。地域住民が状況判断できるような内容にしてほしい。また情報が周辺部にも行き届くようにしてほしい。

●今後、浚渫工事を計画されているが河岸に置くのではなく持ち帰ってほしい。

●学校行事においてバスを使用しても補助が無い。

を今後の議会活動に反映させるとともに、ご要望の実現に努めてまいります。



大江町天田内会場

アンケートのご意見

●治水関係の対策をよろしくお願ひしたい。

●議員の方からの直接の意見が聞けて良かった。

●地元住民の意見を反映していたら、議会活動で取り上げてほしい。

●地域防災対策について原発問題の対応が書いてない。

●市民の参加者が思ったより少なく残念である。

●本市の課題や先進地視察された内容も聞きたかった。
●質問に対して明快な答弁が返ってこない事があった。などでした。

平成25年度 政務活動費の各会派収支報告

議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、会派(無会派を含む)に対し議員1人あたり年額18万円を上限に政務活動費を交付しています。地方自治法の一部改正に伴い、平成25年度からは「政務活動費」に名称が改められ、支出の対象となる科目などが増えました。政務活動費は、先進地への行政視察や研修への参加、資料作成として使用されます。

※年度の途中に会派の解散、所属人数に変更があった場合は、交付額が調整されます。

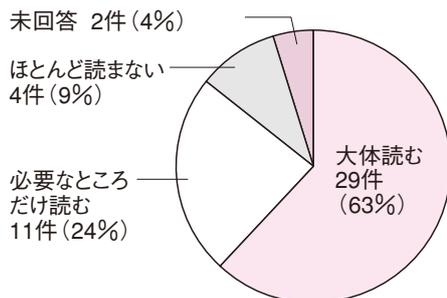
会派名 所属議員	交付額 (円)	内 容
日本共産党 市会議員団 塩見 卯太郎 足立 進 吉見 純男 中島 英俊 大槻 富美子	900,000	(1) 主な政策研究テーマ ・議会基本条例の制定と今後の政策立案 ・社会保障制度の改革と地方議会 ・自治体議会が直面している問題 ・アベノミクス下の公共事業・財政改革の課題、過疎地域の公共交通のあり方 ・過疎地域の公共交通の課題 ・国の過疎集落等自立再生緊急対策事業を活用した農山村の活性化の方策 ・過疎が進む中での地域協議会のあり方 (2) 成果と課題 ・全国の約4割の地方議会で議会基本条例が制定されており、どの様に活性化するかが課題であり、研修した成果を、本市議会に生かしていく。 ・国の社会保障制度改革——本市で医療・介護・福祉の改革がどのように展開されるのか、研修で学んだ成果を、安心して受けられる医療・介護・福祉への提言を行う。 ・過疎地域の活性化を生き生きと進めている先進事例の学んだ成果を、本市の活性化へ提言する。 ・京丹後市の公共交通の先進事例を学んだ成果を、本市の市バスなど公共交通の提言を行う。 ・安倍政権下の財政改革の影響を学んだ成果を、本市の財政のあり方について提言する。
公明党 市会議員団 足立 伸一 大谷 洋介 吉見 茂久	534,839	(1) 主な政策研究テーマ ・公共施設の防災・減災対策の検討 ・財政の見える化の推進 ・議員報酬・定数・政務活動費のあり方の検討 ・議会の見える化の推進 (2) 成果と課題 ・老朽化の現状把握と更新手続きのための手法(公共施設アセットマネジメント)が導入され、検討・推進する組織の設置に至った。 ・透明度の高い公会計東京都モデルの導入は、経費がかかることが課題である。 ・選挙で選ばれた議員で構成する議会の資質向上を念頭に検討を進め、平成26年度には提言の予定である。 ・議会基本条例の解説書の作成、市民との意見交換会などを実施した。
福知山 未来の会 田中 法男 森下 賢司 奥藤 晃 芦田 眞弘	570,000	(1) 主な政策研究テーマ ・ゆめづくり地域予算制度・幼保連携型認定こども園・学校給食費無料化事業 (2) 成果と課題 ・市町村アカデミーでは地方議会のあり方、災害時の議員の役割などについて学習し、視察(名張市のゆめづくり地域予算制度、台東区の幼保連携型認定こども園、大田原市の学校給食費無料化事業の取り組みを参考に政策提言を行う。
福政会 野田 勝康 稲葉 民俊 和田 久 谷口 守 木戸 正隆 高宮 辰郎	1,019,736	(1) 主な政策研究テーマ ・医療センターの運営 ・図書館運営 ・議会基本条例の制定 ・復興都市計画の進捗状況 (2) 成果と課題 ・本市の救命・救急センター開設に伴う運営に対する政策提言を行う。 ・今後起こりうる災害で、その後の組織体制の確立について政策提言を行う。
維新福知山 高橋 正樹 塩見 日出勝	358,524	(1) 主な政策研究テーマ ・分権改革 ・議会改革 ・災害対応 ・財政健全化 ・まちづくり ・教育委員会制度 (2) 成果と課題 ・第5回2013年度日本自治創造学会で地方議会改革とこれまでの地方分権の取り組みおよび今後の課題点を学習した。 ・三重県 亀山市・松阪市・鳥羽市(行政視察)——議会基本条例が制定されたが、先進地である三重県の自治体を訪問し、住民協議会や議会改革推進会議の導入、議会でのICT利用の現状など、議会改革手法を幅広く視察した。 ・平成25年度全国災害ボランティア議員連盟研修『神戸で考えよう!』に参加し、阪神淡路大震災を顧みて、ボランティア活動の重要性と本市における災害対応の教訓を学んだ。 ・第18回清溪セミナーに参加し、人口減少社会における地域経営と地域コミュニティ、教育委員会制度の問題点に関する講演で学習した。
希望の会 田淵 裕二 谷垣 和夫 藤田 守 桐村 一彦	870,000	(1) 主な政策研究テーマ ・自治基本条例の制定 ・地域防災計画 ・市民協働によるまちづくり事業 (2) 成果と課題 ・市民参加会議の充実を図りながら、庁内プロジェクトチームでの検討に参考としたい。 ・災害時における地域との連携や民間業界・協会と契約締結し、迅速対応を検討していきたい。 ・市民参加型まちづくりシステム制度、事業推進など方向性について検討していきたい。
無会派 稲垣 司郎	80,567	(1) 主な政策研究テーマ ・議員の活動内容 ・地方自治法抜本改正の考え方 ・政務活動費の使途基準
新政会 (H25.5.10解散)	60,000	(1) 主な政策研究テーマ ・地方議会の会期 ・政務調査費の改正
無会派 (H25.5.15解散)	0	

「議会だより」アンケート結果

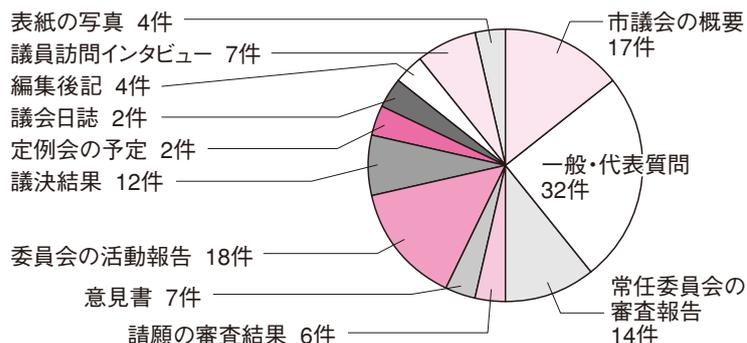
「議会だより（No96平成25年11月1日発行）アンケート」にご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいたご意見などを参考に、よりわかりやすく、親しみやすい紙面づくりに努めていきます。

- 実施方法 配布部数／32,200部 ○ 実施期間／平成25年11月7日～12月31日
- 回答者の男女別人数／男性29人、女性15人、未回答2人 計46人

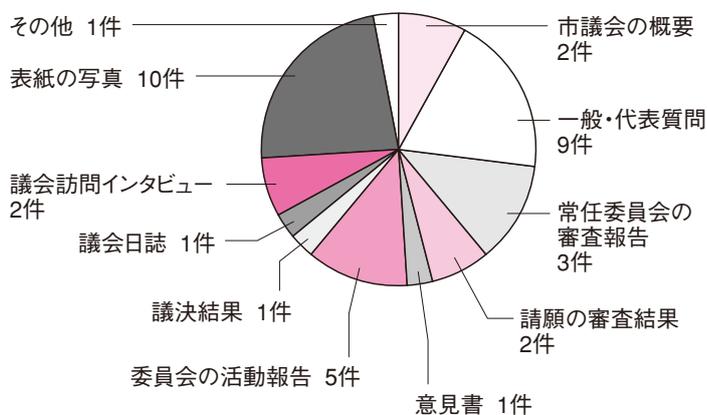
問1 議会だよりをどの程度読まれますか？



問2 興味のある記事は何ですか？（複数可）



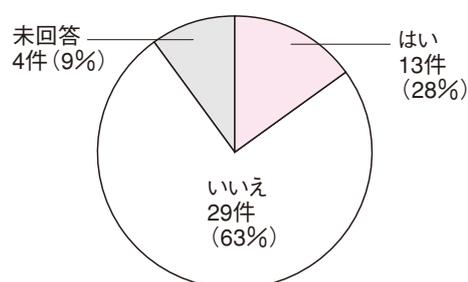
問3 改善が必要と思われる記事とその具体的な理由をお聞かせください。（複数可）



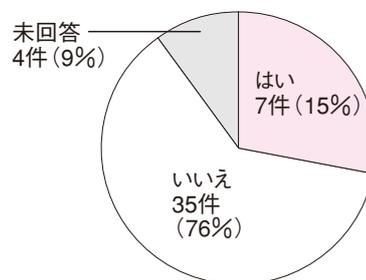
主なご意見

- 質問者の調査研究不足が多い。
- 「検討後対応したい」の答弁は、検討後どうなったのか知らせてほしい。
- 質問は要点のみ、答弁は詳細に説明を。
- 何を審査し、結果をどう処理したのか知らせてほしい。
- 委員長、参加議員の名前を。

問4 議会だより表紙の写真、議員訪問インタビュー先の募集をしていることをご存知ですか？



問5 市議会のホームページを見たことがありますか？



問6 議会だより・ホームページのご意見ご感想などを、ご自由にご記入ください。

- これからも分かりやすく、よく読まれる「議会だより」を期待している。
- 記事に関係する写真や子どもたちの写真を取り入れてほしい。
- 随所に写真が挿入されていて読む気がおこり、良いと思う。
- 多く税金を使っているにしては「議会だより」は無駄なように思う。
- 以前に比べて、少しずつ読みやすくなってきている。



「元気やま福知山」

No.11

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：芦田 眞弘議員・大槻 富美子議員

大江アットホーム舟越ボランティアを訪問

参加者の笑顔が一番、「ここに来るのが楽しみ！」

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人に、取材先を募集し、議員が訪問します。

今回は、大江地域を中心に高齢者向きの活動がされている「大江アットホーム舟越ボランティア」を訪問しました。

代表の迫田代志子さんによると、平成21年5月より開始された「高齢者の方がいきがいの場として一日を楽しく過ごしてもらおうことを目的」とした社会福祉協議会の事業運営をするために結成されたサークルだそうです。



（右から谷岡静子さん、代表の迫田代志子さん、山口直江さん、日置昌代さん）



午後からは④歌やゲームなどのレクリエーション⑤15時のおやつ（手作りです）⑥16時頃帰宅・・・という流れです。

初めの頃は利用者が7名程度、ボランティアが4名程度であったが年々、クチコミで広がり今では50名を超える方が登録されています。ボランティアも30名の方が関わっておられます。

毎週木曜日に9時半頃から16時頃まで活動をされており、一回の利用料は千円です。一日の流れとしては①血圧、体温測定②簡単な体操③手芸、この辺でおよそ1時間です。

介護予防としての取り組みなのですが、ここに通っている人は皆さん自分で歩いて、自分のことは自分でできます。

70歳くらいの方から94歳の方も利用されており、「ここに来るために一生懸命リハビリをして通いたい」、「これがあるから生きていける」、「手芸は苦手なメニューだけど、仲間がいるから頑張れる」・・・など元気に語っていた方がいました。

ここを利用して以前より元気になられた人、

無口な人が話ができるようになった方も多いそうです。

ボランティアの皆さんにやりがいやご意見を伺うと「やがてお世話になる時が来る。それまでは人のために頑張りたい」、「家にいることより外で活動することが好き」、「みんなが前向きで熱心である」、「地域の皆さんからの応援もいただき、頑張る気持ちになれる」、「送迎ボランティアの方もここはおもしろいよと宣伝してくれる」などと熱く語っていただきました。でも、皆さん共通して思うことは、「利用者の方のうれしい笑顔が一番ということでした。」



利用者の方が作られた手芸作品

編集後記

近年はミワちゃんとうり坊の微笑ましい話題で沸いた福知山市でしたが、昨年は花火大会での爆発事故、台風18号の水害と、暗いニュースが相次ぎました。

今年は、福知山成美高校野球部の選抜大会甲子園出場ベスト8進出で市全体が沸き、パッと花が咲いたかのような明るい話題。福知山に元気をくれた成美高校野球部ありがとう！夏の大会も出場を期待しております。

まちな顔である福知山駅周辺に、「市民交流プラザふくちやま」がプレオープンしました。市民交流の場として活用したいものです。過去を振り返ってみても、良いことや悪いことさまざまな出来事を繰り返しながら、まちは歩みを続け発展を遂げていくのだとつくづく思います。

今後この「議会だより」を通じて、分かりやすく議会の情報をお伝えしてまいりたいと思っております。

（広報広聴委員会）